

病害虫防除技術情報第15号

平成27年9月18日

三重県病害虫防除所

ダイズにおける吸実性カメムシ類の発生に注意しましょう！

1. 対象作物：ダイズ
2. 対象病害虫名：吸実性カメムシ類
(ミナミアオカメムシ、イチモンジカメムシ、ホソヘリカメムシ)

3. 発生状況と今後の予測

近年、伊勢平坦地域ではミナミアオカメムシの発生が急増しており、ダイズの被害粒（子実の萎縮、変形、変色）や、青立ち症状の発生が著しく増加しています。

巡回調査（9月第2～3週）では、発生圃場率15.0%（平成23.8%）、寄生株率0.9%（平成1.9%）、寄生虫数0.9頭/25株（平成1.3頭/25株）と平成より少なくなっていますが、降雨等の影響で播種時期が遅れたことによる生育の遅れが一つの要因であると考えられます（表）。

1か月予報（9月17日・名古屋地方気象台発表）によると、天気は数日の周期で変わり、平成に比べ曇りや雨の日が多い見込みですが、日照時間は平成並または少ない傾向であり、気温は低い傾向から平成並に推移する見込みです。

また、別報にて、ハスモンヨトウの発生が多い状況である旨お知らせしたところです。

このような状況から、吸実性カメムシ類とハスモンヨトウの両種について注意が必要です。

表 巡回調査圃場における吸実性カメムシ類の発生状況(2015年9月7日～15日調査)

地区	調査地点	調査月日	吸実性カメムシ類		
			寄生株率(%)	寄生虫数(頭/25株)	種類
桑名	いなべ市大安町大井田	—	荒天のため、調査中止。		
四日市	四日市市江村町	9/10	1.0	0.3	ミナミアオ(成)
鈴鹿	鈴鹿市下大久保	9/8	0.0	0.0	
津	津市白山町川口	9/7	0.0	0.0	
松阪	松阪市藤之木町	9/11	1.0	1.3	ミナミアオ(幼?)
	松阪市保津町		4.0	4.8	ミナミアオ(成・幼?)
伊賀	伊賀市木興	9/15	0.0	0.0	
	伊賀市千戸		0.0	0.0	
県全体			0.9	0.9	発生圃場率 15.0%
10年平均			1.9	1.3	(平成23.8%)

4. 防除対策

- (1) 薬剤散布は、①莢伸長期（開花20日後）と、②子実肥大中期（開花40日後）の2回散布を基本としてください。
- (2) 莢伸長期から子実肥大中期に生育している圃場では、吸実性カメムシ類が集中するおそれがあり、注意が必要です。
- (3) 2回散布ができない場合は、子実肥大初期（開花30日後）に薬剤散布してください。
- (4) 吸実性カメムシ類は移動性が高いため、無人ヘリなどによる広域一斉防除が効果的です。

(5) エチプロール剤およびジノテフラン剤は、ミナミアオカメムシの殺虫効果が高いことが確認されています。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。